

問題は から までで、2 ページから 19 ページまであります。確かめなさい。

解答は、解答番号 から までにマークしなさい。

中国における漢民族と北方民族との抗争史に関する次の文章 A～C を読んで、以下の問いに答えなさい。

A 古代以来、中国では長く農耕を主とする漢民族と北方の遊牧民族が対立してきた。前 3 世紀後半に中国を初めて統一した秦の始皇帝は中央集権の強化とともに北方の に対抗した。 に対して本格的な積極策を展開したのは前 2 世紀後半の前漢の武帝時代であり、それまでは中国の王朝は劣勢の立場に立たされることが多かった。さらに の勢力が次第に後退した 1 世紀後半の後漢の明帝、章帝時代には再び対外積極策が展開され、後漢の勢威は西方に及んでいった。

問 1 空欄 に入る北方遊牧民として最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 鮮卑
② 羌
③ 匈奴
④ 柔然

問 2 下線部(a)に関連して、秦の始皇帝の政策について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 全土を郡と県に分け、中央から派遣した官吏(郡守、県令)を置いて統治する郡県制を実施した。
② 春秋戦国時代には無かった万里の長城を新たに建設し、北方遊牧民の侵入に備えた。
③ 墨家の思想を採用するとともに、思想言論を統制するために焚書坑儒を行った。
④ 官吏を登用するために地方の有力者から人材を推薦させる郷挙里選を実施した。

問 3 下線部(b)に関連して、前漢の武帝時代の政策について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 張騫を大月氏に派遣し、西域の事情に関する情報を得た。
② 馬・鉄・砂糖の専売制を始め、財政を安定させた。
③ 統一貨幣として新たに半両銭を鑄造し、普及させた。
④ 鄭玄の献策にもとづいて儒学の正統教学化を図った。

問 4 下線部(c)に関連して、この時代に西域都護として活躍し、後漢の勢威を高めた人物は誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 4 ① 霍去病
② 班超
③ 衛青
④ 李広利

B 3世紀後半に入ると北方遊牧民族の活動はますます活発となり、その余波はユーラシア大陸の西方ではゲルマン人の大移動をもたらすまでになった。華北への侵入も激しくなり、その一部は4世紀初頭には西晋を滅ぼすに至った。以後、中国大陸では五胡十六国時代と呼ばれる動乱が1世紀以上も続いた。この間、漢民族王朝は南方に追われ、江南地方では門閥貴族階級を主体とした華麗な六朝文化が栄えた。

問 5 下線部(d)に関連して、ゲルマン人大移動について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 5 ① ゲルマン人大移動の引き金となったのはアッティラ王に率いられたヴァンダル人の西進によるものだった。
② アラリック王に率いられた西ゴート人は375年にユーフラテス川を大挙して渡河し、最終的にイベリア半島で西ゴート王国を建国した。
③ テオドリック王に率いられた東ゴート人はイタリア半島に東ゴート王国を建国したが、6世紀にはビザンツ(東ローマ)帝国のユスティニアヌス帝による遠征軍に滅ぼされた。
④ ヨーロッパ各地に分立したすべてのゲルマン諸国家はアタナシウス派キリスト教を受容し、国教としていた。

問 6 下線部(e)に関連して、この出来事を何と呼ぶか。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 6 ① 永嘉の乱
② 八王の乱
③ 黄巢の乱
④ 方臘の乱

問 7 下線部(f)に関連して、南朝および六朝文化に関して述べたA～Cの文について、その正誤の組み合わせとして最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- A 王羲之は『帰去来辞』を著し、自然詩人として田園での生活を送った。
 B 梁の昭明太子は『文選』を編纂し、詩とともに華麗な四六駢儷体の文を後世に伝えた。
 C 南朝では官吏任用に際して科挙が実施され、門閥貴族の子弟が上級官職を独占していた。

	A	B	C
7	① 誤	誤	正
	② 正	正	誤
	③ 誤	正	誤
	④ 正	誤	正

C 北宋では文治主義体制の行き詰まりから 11 世紀後半には財政難が深刻となり、軍備の弱体化もあって既にこの世紀の前半には北方遊牧諸民族からの圧力が強まっていた。彼らは遼、^(g)西夏、^(h)金を建て、中国本土の一部を領有するなど、北宋に対して優勢となり、12 世紀前半には北宋は南遷を余儀なくされた。次いで 13 世紀初めにはモンゴル帝国が興り、1279 年には中国⁽ⁱ⁾全土がモンゴル人の支配下におかれることとなった。

問 8 下線部(g)に関連して、北宋の文治主義体制について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 8 ① 趙匡胤(太祖)は中書省を廃止し、六部を皇帝の直属とすることで君主独裁体制を固めた。
 ② 趙匡胤(太祖)は科挙制度に皇帝みずからが試験官となつて行ふ殿試を付加し、官僚体制を整えた。
 ③ 神宗皇帝時代の宰相王安石は富国強兵策を試みたが、東林党・非東林党の党争によって改革は挫折した。
 ④ 哲宗皇帝時代の宰相司馬炎は編年体の歴史書『資治通鑑』を著した。

問 9 下線部(h)に関連して、遼、西夏、金について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 9 ① 遼は契丹人の耶律阿保機が建てた国で、その後、1004年の慶暦の和約で北宋に燕雲十六州の領有を認めさせた。
- ② 西夏はタングート(党項)人の国で興慶府を都とし、1044年には北宋に対して西夏を「兄」とする地位を認めさせ、歳幣を受けた。
- ③ 金は女真人の完顔阿骨打が建てた国で、1126～27年の靖難の役で北宋を滅ぼし、華北を支配した。
- ④ 遼や金は遊牧民と農耕民をそれぞれ分離して支配する二重統治体制を行ったが、漢化(中国化)の傾向は免れがたく、衰退の一因となった。

問10 下線部(i)に関連して、モンゴル帝国の拡大にともなって起きたア～エの出来事に関して、それらが生じた順番として最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ア. アッバース朝の滅亡
- イ. 金の滅亡
- ウ. 元の建国(国号の改称)
- エ. 西夏の滅亡

- 10 ① イ⇒エ⇒ア⇒ウ
- ② ア⇒イ⇒ウ⇒エ
- ③ ウ⇒イ⇒エ⇒ア
- ④ エ⇒イ⇒ア⇒ウ

II

世界史上で有名な女性に関する次の文章 A～E を読んで、以下の問いに答えなさい。

A 前 69 年にエジプトのプトレマイオス王家に生まれた彼女^(a)は、弟のプトレマイオス 13 世と結婚して共同統治を始めたが、王権は安定しなかった。その後、ローマのカエサル、アントニウスと結んで王家の維持を図り「東方の女王」となることを目指したが、BC 31 年の 海戦でオクタウィアヌスに敗れて翌年自殺し、エジプトはローマの属州となった。

問 1 下線部(a)の「彼女」とは誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 11 ① サッフォー
② ロクサナ
③ アガシストラタ
④ クレオパトラ(7 世)

問 2 空欄 に入る地名として最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 12 ① アクティウム
② トラファルガー
③ サラミス
④ プレヴェゼ

B ドイツ貴族の娘だった彼女^(b)はロシアのピョートル 3 世に嫁した後、クーデタによって自らがロシア皇帝の座に就いた。彼女は啓蒙専制君主として国政に力を注ぎ、その治世が及んだ 18 世紀後半にはロシアは東欧の一大強国となっていた^(c)。

問 3 下線部(b)の「彼女」とは誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 13 ① マリ・アントワネット
② エカチェリーナ 2 世
③ マリア・テレジア
④ エリザヴェータ

問 4 下線部(c)に関連して、この時代に彼女が行った政策や出来事に関して述べたA～Cの文について、その正誤の組み合わせとして最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- A プチャーチンが根室、箱館に来航し、江戸幕府に通商と漂流民の送還を求めた。
B コサックの首長ステンカ・ラージンが指導した農民反乱が起こったが鎮定され、彼は処刑された。
C 3次にわたるポーランド分割を強行し、18世紀末にはポーランドは消滅した。

	A	B	C
14	① 正	正	誤
	② 誤	正	正
	③ 誤	誤	正
	④ 正	誤	誤

C ポーランド生まれのドイツ人女性革命家として知られた彼女^(d)は『資本蓄積論』などを著し、ドイツ社会民主党最左派の理論家としてマルクス主義に基づく革命路線を唱えた。後にドイツ共産党となる の指導者の一人となったが、1919年初めの による武装蜂起は政府と軍隊によって鎮圧され、混乱の最中に彼女も虐殺された。

問 5 下線部(d)の「彼女」とは誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 15 ① ローザ・ルクセンブルク
② マリ・キュリー
③ クルプスカヤ
④ ボーボワール

問 6 空欄 に入る組織名として最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 16 ① ボリシェヴィキ
② メンシェヴィキ
③ 急進社会党
④ スパルタクス団

D インド国民会議派の指導者ネルーの娘として生まれた彼女は父が獄中にあった時からインド^(e)独立運動に参加し、イギリスの植民地支配に抵抗を続けた。^(f)1966年にはインド最初の女性首相となったが、1984年にシク教徒の過激派に暗殺された。

問 7 下線部(e)の「彼女」とは誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 17 ① インディラ・ガンディー
② シェイク・ハシナ
③ カレダ・ジア
④ バンダラナイケ

問 8 下線部(f)に関連して、イギリスによるインド植民地統治と独立運動について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 18 ① イギリスは1905年にベンガル分割令を公布し、東部にヒンドゥー教徒が多く住むベンガル州を分割して宗教対立を煽り、独立運動を阻害しようとした。
② インド国民会議派は1906年にラホール大会を開き、スワラージ、スワデーシなど4つの実践綱領を発表した。
③ 1919年のインド統治法制定およびローラット法の発布に反対してガンディーは反英非暴力・不服従運動を展開した。
④ 1947年にはイギリスのインド統治が終了し、インド、パキスタン、バングラデシュの3カ国が独立した。

E ミャンマー(ビルマ)独立運動の指導者を父に持つ彼女は民主化運動のリーダーとして活躍^(g)し、1990年の選挙で大勝したものの、権力の維持に固執する軍部との軋轢は続いた。民主化運動への国民の支持を背景にして2016年には国家顧問として一時は実権を握ったが、2021年の軍事クーデタにより逮捕、投獄され、今なお収監中と言われている。日本でも彼女がおかれている状況を憂慮する声が高まっている。^(h)

問 9 下線部(g)の「彼女」とは誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 19 ① ベーナズイール・ブット
② グエン・ティ・ビン
③ コラソン・アキノ
④ (アウン・サン)スー・チー

問10 下線部(h)に関連して、日本とミャンマー(ビルマ)の関係について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 20 ① 17世紀のタイにあったアユタヤ朝はビルマのタウングー朝からの軍事的圧力に対抗するために山田長政を日本人傭兵隊長として雇い入れ、その後、日本人町が発展した。
- ② 太平洋戦争中の一時期、ビルマにはイギリス軍が駐屯していたが、1944年には反ファシスト人民自由連盟が結成され、反英武装闘争が続けられた。
- ③ 現在の日本政府は欧米諸国と同様に民主主義を抑圧するミャンマーの軍事政権を認めておらず、外交関係を断絶して経済協力をすべて停止している。
- ④ 国際世論からの非難にもかかわらず、現在のミャンマー軍事政権は西部ラカイン州を中心に居住するヒンドゥー教徒であるロヒンギャの人々を弾圧しており、多くの難民が生まれている。

- Ⅲ イギリスにおける議会政治の発達の歴史に関する次の文章A～Cを読んで、以下の問いに答えなさい。

A イギリスの議会政治はもともと王権に対する貴族の反抗とけん制を背景にして生まれてきた。13～14世紀にはプランタジネット王権に対する貴族の反抗が激化し、両者の妥協が進む^(a)中で特権都市代表を含めた身分制議会が確立した。やや遅れてフランスでも身分制議会として聖職者、貴族、都市代表からなる全国三部会^(b)が生まれた。議会政治は必ずしも民主政治とは関わりを持たず、むしろ中世封建社会の変容^(c)とともに始まったと言えよう。

問 1 下線部(a)に関連して、この間に起きたア～エの出来事に関して、それらが生起した順番として最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ア. ジョン王が大憲章(マグナカルタ)を承認した。
- イ. シモン・ド・モンフォールの反乱が起きた。
- ウ. エドワード1世が模範議会を開催した。
- エ. 貴族院(上院)と庶民院(下院)による両院制が確立した。

- 21 ① ア⇒イ⇒ウ⇒エ
② ア⇒ウ⇒エ⇒イ
③ イ⇒ア⇒ウ⇒エ
④ イ⇒エ⇒ア⇒ウ

問 2 下線部(b)に関連して、フランスの三部会について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 22 ① もともとは国王ルイ9世がローマ教皇インノケンティウス3世に対抗するために召集した身分制議会だった。
- ② ユグノー戦争の終結に際してアンリ4世は全国三部会を召集し、その承認を得たうえでナントの王令を發布し、自らはプロテスタントに改宗した。
- ③ ルイ13世時代には全国三部会が解散され、その機能は長期にわたって停止した。
- ④ 1789年に再召集された際、第三身分が全国三部会からの分離を宣言し、国民公会を結成した。

問 3 下線部(c)に関連して、中世ヨーロッパの封建社会について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 23 ① 封建制度はローマ帝国時代の従士制度と古代ゲルマン社会にあった恩貸地制度にその起源をもっている。
- ② 封建社会にあって主にその生産力を支えたのは、領主に隷属し、土地に束縛される農奴と呼ばれる人々だった。
- ③ 封建領主は荘園を持ち、領主直営地からの貢納、農民保有地での賦役の他、隷属下の農民に対して数々の経済外的強制を課していた。
- ④ エルベ川以東の中欧地域では 13～14 世紀ごろから貨幣経済が進展して都市が隆盛し、また疫病の蔓延などもあって、西欧地域に比べていち早く封建社会が崩れていった。

B 17 世紀初め、イギリスではスコットランドの王家であった 家から王が輩出したが、歴代の王は議会と対立して両者の関係は険悪となり、1642 年にはピューリタン革命が勃発した^(d)。革命の混乱期を経て 1660 年には王政が復活したが、その後も王権と議会の対立は続き、1688 年には名誉革命が起きた^(e)。革命後には王権に対する議会の優越が確定し、その後、18 世紀前半には責任内閣制度が定着するに至って現在のような立憲政治の仕組みがほぼ確立した^(f)。

問 4 空欄 に入る王家は何か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 24 ① ハノーヴァー
- ② テューダー
- ③ ランカスター
- ④ ステュアート

問 5 下線部(d)に関連して、ピューリタン革命勃発までの国王と議会の対立について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 25 ① 国王ジェームズ 1 世は社会契約説を信奉し、ピューリタンの抑圧を行った。
- ② 議会は 1628 年に国王チャールズ 1 世に対して「権利の請願」を提出した。
- ③ スコットランドでの反乱に対して、国王ジェームズ 2 世は議会を無視して独断で遠征費用を捻出した。
- ④ ジェントリー階級出身のクロムウェルは議会派の軍事権を握り、ヘースティンガスの戦いで王党軍を撃破した。

問 6 下線部(e)に関連して、王政復古から名誉革命までの間に起きたア～エの出来事に関して、それらが生じた順番として最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ア. 人身保護法の制定
- イ. チャールズ 2 世の即位
- ウ. 審査法の制定
- エ. 第 3 次英蘭戦争の終結

- 26 ① イ⇒ウ⇒エ⇒ア
② イ⇒エ⇒ア⇒ウ
③ イ⇒ア⇒ウ⇒エ
④ イ⇒ア⇒エ⇒ウ

問 7 下線部(f)に関連して、イギリスの責任内閣制度の確立にあたってその基礎を固め、初代首相とされるホイッグ党の政治家は誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 27 ① ウィリアム・ピット(小ピット)
② ネルソン
③ トマス・ペイン
④ ロバート・ウォルポール

C 産業革命の進展に伴う社会の変容を背景にして、19世紀前半のイギリスでは自由貿易を推進するための様々な改革が進んだ。また、これと並行して選挙権の拡大も進み、1832年から1928年までの5回にわたる選挙法の大きな改正も行われた。議会制度については1911年には自由党の Y 内閣の下で議会法が成立して下院の優越が確立した。

問 8 下線部(g)に関連して、イギリスの自由主義改革として行われたア～エの出来事に関して、それらが生じた順番として最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ア. 東インド会社の中国貿易独占廃止
- イ. 穀物法の廃止
- ウ. 審査法の廃止
- エ. 航海法の廃止

- 28 ① イ⇒ア⇒ウ⇒エ
② ア⇒イ⇒エ⇒ウ
③ ウ⇒ア⇒イ⇒エ
④ ア⇒エ⇒イ⇒ウ

問 9 下線部(h)に関連して、選挙法改正について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 29 ① 第1回選挙法改正は1832年にトーリー党グレー内閣の下で行われ、腐敗選挙区の廃止とともに産業資本家に参政権が拡大された。
- ② 第2回選挙法改正は1867年に保守党ダービー内閣の下で行われ、参政権が小市民・都市労働者にも拡大された。
- ③ 第3回選挙法改正は1884年に自由党グラッドストーン内閣の下で行われ、参政権が農村・炭鉱労働者や30歳以上の女性にも拡大された。
- ④ 第4回選挙法改正は1918年に自由党ロイド・ジョージ内閣の下で行われ、21歳以上の男女普通選挙が実現した。

問10 空欄 に入る人物は誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 30 ① マクドナルド
② チャーチル
③ サッチャー
④ アスキス

IV 帝国主義時代に関する次のA～Cの資料(史料)を参考にして、以下の問いに答えなさい。

【資料(史料)A】 * 19世紀末、英領ケープ植民地の首相 の言葉。

…私は、われわれ(白人)は世界第1等の人種であり、われわれの住む世界が広がるほど人類にとって幸福だと主張する。…世界はほとんどすべて分割されつくした。残されている地域も分割され、征服され、植民地化されようとしている。私は、君が夜空に仰ぎ見る星について、私たちが決して到達することのできぬこの広大な世界について思いをめぐらすのだが、できることなら私は遊星をも併呑したい。…私の心からの理想は社会問題の解決である。すなわち連合王国の4,000万の住民を血なまぐさい内乱からすくうためには、われわれ植民政策家は、過剰人口の収容、工場や鉱山で生産される商品の新しい販売領域の獲得のために新しい土地を領有しなければならない。私のつねづね言ってきたことだが、帝国とは胃の腑の問題である。諸君が内乱を欲しないならば、諸君は帝国主義者にならなければならない。

(出所：『資料世界史』／令文社)

【資料(史料)B】

* 1928年、^(a)関東軍作戦主任参謀^(b)石原莞爾による「満蒙問題解決のための戦争大綱計画」。

- (1) 満蒙問題の解決は日本の活くる唯一の道なり。国内の不安を除く為には対外進出によるを要す。(以下、略。)
- (2) 満蒙問題解決の鍵は帝国陸軍之を握る。満蒙問題の解決は日本が同地方を領有することにより^(c)初めて完全達成される。対支(那)外交即対米外交なり。すなわち、前記目的を達成するために対米戦争の覚悟を要す。(以下、略。)
- (3) 満蒙問題解決方針。対米戦争の準備ならば、すぐに開戦を賭し、断乎として満蒙の政権を我が手に収む。満蒙の合理的開発により日本の景気は自然に修復し、失業者また救済せらるべし。

(出所：佐高信『石原莞爾とその虚飾』／講談社文庫)

【資料(史料)C】 * 1917年、イギリス外相 によるロスチャイルド家への書簡。

拝啓、余は陛下の政府に代わって、閣議に附されかつ承認されたユダヤ＝シオニストの熱望に同情する以下の宣言を貴下に伝達する事を喜びとするものであります。「陛下の政府はパレスチナに、ユダヤ民族のためのホーム(National Home)を建設することに好意を寄せ、この目的の達成を容易ならしめるために最善の努力を尽くすであろう。…(以下、略。)」貴下がこの宣言をシオニスト連盟に通知せらることは余の欣快とするところであります。

(出所：『世界史資料(下)』／東京法令)

問 1 資料(史料) Aに関連して、☐ X ☐ に入る人物は誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 31 ① ジョゼフ・チェンバレン
② セシル・ローズ
③ ネヴィル・チェンバレン
④ キッチナー

問 2 資料(史料) Aに関連して、☐ X ☐ がケープ植民地首相を辞任した後に起きた南アフリカ戦争について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 32 ① 南アフリカ戦争はアフリカ南部で産出されるカカオ豆やコーヒー豆の独占を目指したイギリスの帝国主義戦争だった。
② 南アフリカ戦争当時、中国では義和団戦争が起きていたが、イギリスはこの戦争のために中国へ大軍を派遣できる余裕を持っていなかった。
③ 南アフリカ戦争でイギリスはブール人と呼ばれる黒人たちが建国したトランスヴァール共和国、オレンジ自由国を滅ぼし、自国領に併合した。
④ 南アフリカ戦争を経て、イギリスは自治領として 1910 年に南アフリカ連邦を成立させ、クリオーリョ主義と呼ばれる人種差別政策を実施した。

問 3 資料(史料) Aに関連して、19 世紀後期から 20 世紀初頭にかけてイギリスが行った帝国主義政策に関して述べた A～C の文について、その正誤の組み合わせとして最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- A イギリスはエジプトのカイロ、インドのカルカッタ(コルカタ)、南アフリカのケープタウンを拠点として植民地を拡大する 3 C 政策を展開した。
B 保守党のディズレーリ内閣は 1875 年にエジプトのウラービー・パシャからスエズ運河会社株を買収し、運河会社の支配権を握った。
C 19 世紀末に起きたファショダ事件を契機にしてイギリスは「光榮ある孤立」政策を放棄し、ロシアへの接近を図った。

- | | A | B | C |
|------|---|---|---|
| 33 ① | 正 | 正 | 誤 |
| ② | 誤 | 正 | 正 |
| ③ | 正 | 誤 | 誤 |
| ④ | 誤 | 誤 | 正 |

問 4 資料(史料) B の中の下線部(a)に関連して、関東軍について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 34 ① 関東軍はポーツマス条約で日本が獲得した関東州と満州里から旅順までの東清鉄道支線の警護隊として生まれたものである。
- ② 関東軍は日本の満州利権を確保、拡大するために次第に増派されたが、天皇の統帥権のもとで厳格な規律を維持し、独断専行をすることはなかった。
- ③ 1939 年のノモンハン事件において、関東軍は優勢な火器と機械化部隊をもってソ連・モンゴル軍を破った。
- ④ 精鋭とうたわれた関東軍も太平洋戦争末期には弱体化し、1945 年 8 月のソ連軍の侵攻によって壊滅した。

問 5 資料(史料) B の中の下線部(b)に関連して、石原莞爾は「満州事変の首謀者」と言われる大日本帝国陸軍の軍人、軍事思想家だった。満州事変勃発までに中国で起きたア～エの出来事について、それらが生じた順番として最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

ア. 上海(四・一二)クーデタ

イ. 第 1 次国共合作の成立

ウ. 柳条湖事件

エ. 張作霖爆殺事件

- 35 ① エ→イ→ア→ウ
- ② エ→ア→イ→ウ
- ③ イ→エ→ア→ウ
- ④ イ→ア→エ→ウ

問 6 資料(史料) B の中の下線部(c)に関連して、満州事変によって建国された満州国について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 36 ① 満州国の建国理念は「五族協和・王道楽土」であったが、実際には日本人の官僚主導の政策が行われ、大日本帝国の実質的な植民地であった。
- ② 満州国には満州国軍は存在せず、軍権は関東軍に握られており、国際社会からは独立国とは見なされていなかった。
- ③ 満州国では関東軍、日本人官僚たちの主導によって産業開発計画が実施され、また高速鉄道を走らせるなどの経済開発が進んだが、その「経験」は敗戦後の日本社会では活かされることはなかった。
- ④ 満州国皇帝だった溥儀は 1945 年 8 月の満州国崩壊に際して新京を密かに脱出し、アメリカに亡命した。

問 7 資料(史料) C に関連して、に入る人物は誰か。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 37 ① バルフォア
- ② マクマホン
- ③ サイクス
- ④ ピコ

問 8 資料(史料) C の中の下線部(d)に関連して、パレスチナにユダヤ人による国家を樹立する運動について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 38 ① ユダヤ人は前 6 世紀後半のアッシリアによる「バビロン捕囚」以来、各地に離散し、自民族の国家を持つことがなかった。
- ② パレスチナにユダヤ人国家を建国する運動はシオニズムと呼ばれ、ワフド党によって指導され、発展していった。
- ③ 第一次世界大戦中、イギリスはこの運動と矛盾することを承知しつつ、一方では中東地域におけるアラブ人の戦後の独立を約束していた。
- ④ 19 世紀末のフランスではユダヤ系軍人がスパイの嫌疑をかけられるブーランジェ事件が起こるなど、近代にいたってもヨーロッパ各地ではユダヤ人迫害が続いていた。

問 9 資料(史料) Cに関連して、この文書を一つの原因として第二次世界大戦後に勃発した中東戦争について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 39 ① 第1次中東戦争は国連総会で「パレスチナ委任統治案」が決議され、イスラエルが建国されたことに対して周辺のアラブ諸国が反発して始まった。
- ② 第2次中東戦争はエジプトのサダト大統領によるスエズ運河国有化宣言に反発したイギリス、フランスの武力介入とイスラエルの参戦によって始まった。
- ③ 第3次中東戦争においては、イスラエルがエジプト、シリア、ヨルダンへの奇襲によって圧勝し、土地を追われた多数のパレスチナ難民が生まれた。
- ④ 第4次中東戦争においては、アラブ産油諸国がOPEC(石油輸出国機構)を結成し、親イスラエル諸国に対する石油輸出中止を主張する「石油戦略」でイスラエルを敗北に追い込んだ。

問10 資料(史料) A, B, Cの内容をふまえたうえで、私たちが帝国主義時代の経験から導くことが出来る「歴史的な教訓」について述べた文のうち最も適切なものはどれか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 40 ① ロシア革命の指導者スターリンは帝国時代を「資本主義の最高段階」として、金融資本による支配や資本輸出が西洋列強による植民獲得の膨張運動を引き起こしたことを著書の中で批判した。資料(史料)からは日本もまた、かつて同様の体験を有したことがうかがえ、周辺諸国に災厄をもたらしたことを理解しておくべきである。
- ② 資料(史料)からは一国内の社会や経済の情勢、たとえば民衆の生活不安や不満の高まりと国際社会での緊張とはそれほど関係があるわけではないことが理解できる。国際平和の維持発展と個人一人一人の暮らしの安定とは全く別問題として捉えるべきである。
- ③ 資料(史料)からは当時の帝国主義為政者たちは自国、自民族、特定階級の利益に固執し、国民の批判を逸らすためにナショナリズムや排外主義を煽ったことがうかがえる。私たちにはそうした思惑に操られることなく、より深く多面的に学び、「健全な批判精神」を育んでいくことが求められている。
- ④ 資料(史料)からは帝国主義時代の国際政治は冷厳な「力」が支配していたことが分かる。ウクライナやパレスチナの状況をみれば、このことは今も変わっていない。戦争を起こさず、平和と安全を維持するためには軍備を拡大し、国際協力や諸外国との文化交流などは止めた方がよい。

(以上で問題は終わりです。解答番号 41 以降は使用しません。)